

令和6年度

大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）

教育実践研究フォーラム

本フォーラムは、修了を迎える大学院2年生による、教職大学院での2年間の学修・研究の成果の発表の場であるとともに、学校教育の未来について語り合う場でもある。修了生は、学校現場での実践課題に、できる限り理論的・学術的な解釈を行い、その改善や解決に向けた探究に取り組んできた。その成果を関係者と共有し議論することで、新たな知見が生み出されることを期待している。また、パネルディスカッションでは、学校現場・教育行政・高等教育の垣根を超えた対話を企画し、年度のまとめに相応しい参加型のフォーラムとすることを目的としている。

12:50-13:00 開会行事

13:10-15:00 教育実践研究報告会

修了生16名が4分科会に分かれて、学修・研究成果を報告

15:15-16:45 パネルディスカッション

「多様化する社会にあって求められる学校教育の
在り方について」

パネリスト：大分県教育庁教育次長 武野 太 氏
大分県教育庁義務教育課指導主事

田代 和馬 氏

玖珠町教育委員会参事 上田 椋也 氏

玖珠町立くす若草小中学校校長

小原 猛 氏

コーディネーター：

大分大学教職大学院教授 佐藤 晋治

16:45- 閉会行事

日 時

令和7(2025)年2月21日(金)

12:50-17:00 (受付12:20より)

場 所

大分県教育センター研修室等 (対面開催)

(大分市大字旦野原847-2)

申込・問合せ

申込フォーム：<https://forms.gle/ketqa8Jh56A891uA7>

問合せアドレス：kiyokuni@oita-u.ac.jp (担当：清國)



令和6年度 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）

教育実践研究フォーラム 実施要項

【最終案内】

1. 趣 旨 教職大学院における2年間の学修・研究の成果は、理論と実践の往還を意図して築き上げた貴重なものである。修了生の取組は、それぞれの設定した学校教育の課題に迫るにあたり、研究的な視点から理論的根拠を示しつつ、丁寧に探究していった結果でもある。その成果を関係者等に発表し、共有することによって、広く大分県の学校に波及効果をもたらし、学校改善につながることを期待される。また、学修・研究成果の協議を通して、教職大学院の使命や存在意義を改めて問い直し、さらなる充実に資することを目的とする。
2. 主 催 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）
3. 日 時 令和7年2月21日（金） 12:50～17:00
4. 場 所 大分県教育センター研修室（対面開催）
（大分市大字旦野原 847-2）
*大分大学旦野原キャンパスではありません。
5. 対 象 大分大学関係者、大分県教育委員会関係者、市町村教育委員会関係者、現職院生現任校関係者、連携協力校関係者、大分大学教育学部同窓会、大分県内公立学校教職員、他大学の教職大学院関係者
6. 日 程 12:20～ 受付
12:50～13:00 開会行事
13:10～15:00 教育実践研究報告会（4分科会・院生16名）
15:15～16:45 パネルディスカッション
16:45～ 閉会行事
17:00 全日程終了

12:20 12:50 13:10

15:00 15:15

16:45 17:00

受付	開 会 行 事	【第1部】 教育実践研究報告会	休 憩	【第2部】 パネルディスカッション	閉 会
----	------------------	--------------------	--------	----------------------	--------

7. 内 容 第1部 教育実践研究報告会 (13:10~15:00)

スケジュールについては別紙「教育実践研究フォーラム日程表」を参照のこと

第2部 パネルディスカッション (15:15~16:45)

テーマ：

多様化する社会にあって求められる学校教育の在り方について

報告1：大分県に新設する夜間中学校の構想図

報告2：玖珠町の「学びの多様化学校」の1年を振り返って

ねらい：

近年、社会の急激な変化は「多様化」という様相を呈して、学校教育にも多大なる影響を及ぼしている。そこには私たちが拠って立ってきた社会全体を貫く共通の価値観や信念が揺らいできたことと軌を一にしているようである。様々な背景を要因とする児童生徒の不登校や発達上の課題などが社会課題化していることも、その影響のひとつであろう。学校という制度が時代に合わなくなってきたことを憂いたり指摘したりする段階から、具体的にどう変わらなければならないかについて、実践をもとに検討し実行に移す段階へと進んできている。

そこで、個人を取り巻く様々な事情から十分な義務教育を受けられなかった人々に学習機会を提供する「夜間中学校」や「一人ひとりが『主役』として、安心して自分らしく過ごせる学校」（「学校経営方針」より）を目指す「学びの多様化学校」にスポットを当て、改めて両校の現代的な存在意義を確認するとともに、理念のみならず実践上の成果と課題等を踏まえながら、近未来の学校教育の在り方について建設的な意見交換や議論の深化に近づけたいと考えている。

登壇者：

大分県教育庁教育次長	武野 太 氏
大分県教育庁義務教育課指導主事	田代 和馬 氏
玖珠町教育委員会参事	上田 椋也 氏
玖珠町立くす若草小中学校校長	小原 猛 氏
大分大学教職大学院教授	佐藤 晋治（コーディネーター）

8. 申 込 申込フォームにアクセスし、必要事項を記入してください。

申込〆切は、令和7年2月14日（金）とします。

URL： <https://forms.gle/ketqa8Jh56A891uA7>



9. 問合せ 担当：大分大学教職大学院 清國祐二

メール：kiyokuni@oita-u.ac.jp 電話：097（554）7978

【別紙】

教育実践研究フォーラム日程表 令和7年2月21日(金) 12:50~17:00

開会行事(12:50~13:00)(2階・中研修室2)

第1部 教育実践研究報告会(13:10~15:00)

分科会1 (2階・小研修室1西)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	授業開発・教科教育	学卒	総合的な防災・減災教育の授業づくりへの挑戦 - 自分で自分の命を守ることでできる児童の姿を目指して -	いわさき りょうた 岩崎 凌大
13:35~14:00	学級経営・生徒指導	学卒	児童の共感性を引き出すための具体的アプローチ - 「他者感情への感性」と「視点取得」に着目して -	いわた りょうすけ 岩田 亮佑
14:05~14:30	授業開発・教科教育	学卒	歴史文化遺産の再認識を促す総合的な学習の時間の開発 - 臼杵石仏を題材として -	ひらしま たくと 平嶋 拓人
14:30~14:55	授業開発・教科教育	学卒	ESDIにおける6つの構成概念の変化を見とる小学校総合の教材開発 - 地域の食文化に着目して -	みやがわ りょうた 宮川 遼大

分科会2 (2階・小研修室2東)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	授業開発・教科教育	学卒	中学生の英語に対する意識を柔軟させるための体験活動の検討	さとう ゆきな 佐藤 有紀奈
13:35~14:00	学級経営・生徒指導	学卒	児童の規範行動に対する意識を柔軟させた振り返り活動のあり方	みつなが しょうたろう 光永 翔太郎
14:05~14:30	授業開発・教科教育	学卒	自己に関わるやりとりを生む対話の場づくり - 創作物語を媒介として -	くぎみや ゆうと 釘宮 悠人
14:30~14:55	授業開発・教科教育	学卒	災害を推定する力を育む防災・減災教育の在り方 - 小学校理科を主軸とした教科等横断的な視点から -	こうの なりあき 河野 成哲

分科会3 (2階・中研修室1東)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	授業開発・教科教育	学卒	自己調整学習を促す中学校数学科における授業提案 - 振り返り活動に焦点をあてて -	はらだ ともはる 原田 智晴
13:35~14:00	授業開発・教科教育	学卒	高等学校公民科の学習内容と生徒の経験知を接続する授業実践	わた たつお 和田 達旺
14:05~14:30	学校経営	現職	サーバント・リーダーシップの原理に基づいた人材育成に関する研究	あそう ちえこ 麻生 智恵子
14:30~14:55	学校経営	現職	目標達成マネジメントツールを活用した組織形成に関する研究 - PDCAサイクルからPDC<R>Aへの展開 -	くどう あきまさ 工藤 昭征

分科会4 (2階・中研修室3東)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	学校経営	現職	教職員一人ひとりの学校運営参画意識を高めるための学校マネジメントに関する研究 - 学校ビジョンの具現化に向けた取組「もくもくみがきそじの実働」 -	ぜげ けいichirou 瀬々 圭一郎
13:35~14:00	学校経営	現職	心理的安全性の高い教職員集団づくり - 教育相談コーディネーターを核とした不登校児童への組織的対応 -	たかやま しょうへい 高山 昌平
14:05~14:30	学校経営	現職	子どもの主体性を生み出すカリキュラム・マネジメントに関する研究	たなか さとる 田中 聖
14:30~14:55	学校経営	現職	めざす子ども像の実現に向けた教職員集団づくりに関する研究 - 「学習する組織」に着目した大規模校A小学校の実践を通して -	わかすぎ たけし 若杉 健志

※テーマについては仮提出の段階ですので、変更の可能性もあります。

第2部 パネルディスカッション(15:15~16:45)(2階・中研修室2)

テーマ: 「多様化する社会にあって求められる学校教育の在り方」				
報告1: 大分県に新設する夜間中学校の構想図(仮題)				
報告2: 玖珠町の「学びの多様化学校」の1年を振り返って(仮題)				
パネリスト	大分県教育庁 教育次長 武野 太 氏		大分県は、県立の夜間中学校を令和8年4月に開校することを決めた。そもそも夜間中学校は戦争等の影響で義務教育を修了できなかった人々と本国で義務教育を修了せずに日本に移住した外国籍の人々が通う学校であった。このタイミングで設置する夜間中学校の意義や役割について語っていただく。	
パネリスト	大分県教育庁義務教育課 指導主事 田代 和馬 氏	報告1	「大分県に新設する夜間中学校の構想図」と題して、1年後に開校を目指す夜間中学校の現段階での構想や準備状況について説明いただく。ここに至る道のり(先進地訪問、県内調査、設置委員会での議論等)についても報告いただく。	
パネリスト	玖珠町教育委員会 参事 上田 棕也 氏		令和6年4月に開校された「玖珠町立学びの多様化学校」(開校時)は、「不登校児童生徒のためだけの特別な学校ではなく、すべての子どもたちのための未来の学校を創る」を最上位の目標に掲げて船出した学校である。今、社会に求められる学校について語っていただく。	
パネリスト	玖珠町立くす若草中学校 校長 小原 猛 氏	報告2	事態の緊急性に鑑みて、とても短い期間で開校に漕ぎ着けた学校も、8か月を経過した12月1日に「くす若草小中学校」へと改称し、次の一步を踏み出した。県内外から注目を集めた学校であるが、開校より約1年を経過して見えてきたことについて報告いただく。	
コーディネーター	大分大学教職大学院 副研究科長・教授 佐藤 晋治		2つの報告を受けて、主題である「多様化する社会にあって求められる学校教育の在り方」に迫る議論を誘発する。パネリストのみならず、フロアも巻き込んだ刺激的なディスカッションを目指す。	

閉会行事(16:45~17:00)(2階・中研修室2)